

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ひかり園		公表日 2025年 3月10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	0	・リーダー会議で活動場所の調整をしている ・午後の活動では、遊戯室が使えない時には1階のホールを使うことがある	・午後の年長児の活動でホールを使わざると得ないことがあるが、活動の工夫が必要である
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	2	・基準人員は配置されているが、全体の体制や活動を考慮して、他クラスから職員が移動することがある。	・概ね適切であるが、職員の急な欠勤等により、体制が確保できない日が稀にある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	2	・バリアフリーになっている。 ・教室のホワイトボードや掲示板を活用して、視覚的に情報を提示している	・吹き抜けの開放的な空間であるが、2階からの転落等がないよう事故防止への意識は必須である。日常的には施設とその確認が必須。 ・2階への移動手段は階段しかない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	・園児の降園後は、清掃、消毒を行い、空気洗浄を行っている ・教室前の南向きの廊下は陽当たりがよく、給食や午睡後のあそび場として活用している	・継続する
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	2	・複数担任であるため、個々の状況に応じて、別室や共有スペースに移動するなどできる	・継続する
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	4	・個別の面談で意見や要望を聞いている	・面談の機会の保障が難しい ・業務の整理は引き続き検討していくが、一方で、職員の資質の向上も必須と考えている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	・玄関にご意見箱を設置している ・個別のおたより帳を活用し、日常的に意見や要望を聞き、必要な対応をしている	・安心して利用していただけるよう、保護者の評価を真摯に受け止め、引き続き、意見や相談等には適時に対応していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	4	・個別の面談で意見や要望を聞いている	・面談の機会は十分とは言えない。こちらのタイミングになっている。 ・事務時間の保障などに苦慮しているが、改善に至っていないこともある。引き続き検討していく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	5	・評議員の方に本評価結果を見ていただき、ご意見をいただいている。	・業務改善のための検討はしているが、センターに求められる必須業務との調整には難しさがあると感じる。
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	・経験年数や個人の有する資格を考慮して、研修計画を立てている ・中堅職員が法人内の児童発達支援事業所間で相互に実地研修をしている。	・研修の機会の提供にとどまらず、職員からの意見や要望を受けて研修内容を検討、実施していけるとよいと考えている。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	2	・支援プログラムは、「園生活のしおり」「ひかり園のしおり」として配布している ・毎年、年度初めの保護者総会で療育ガイドランスを実施している	・ホームページへの掲載は、今年度から開始した。ご覧になった方の意見なども聞きながら、わかりやすさに留意しながら、よりよいものにしていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	0	・共通のアセスメント表を活用している	・継続しつつ、必要に応じて改訂していく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	・会議の時間だけでなく、休憩時間など、クラス担任間で子どものことを話すよう心がけている	・休憩時間を使っていることが多い。クラス会議は月に2回程度あるが、毎日の時間の確保は難しい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	1	・クラス担任間ではこまめに子どもの姿を確認し合い、支援の目標を共有している	・クラス単位での共有、確認、検討、改善が多くなっている。学期に一度、全体で把握している。パート職員との共有は難しい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0	・アセスメント表は職員全体で共有している ・年1回は標準検査を用いて発達診断を実施している	・アセスメントの視点や捉え方に関する職員の技量を向上させていく必要がある
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	・入園説明会で、重要事項説明書を用いて説明している。	・ホームページ上の支援プログラムについて十分に周知する必要がある

は 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	1	・クラス会議で検討したものをリーダーが月案として作成している ・休憩時間や会議の中で話し、子どもの興味や楽しんでいることを確認している	・月2回はクラス会議を確保する ・その他の会議も、月1回は保障し、担当者間で検討できるようにする
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	・クラス担任だけでなく、児発管や他クラスの職員らの意見も聞きながら、活動を検討している	・引き続き、各種会議を開催できるよう調整し、検討ができるようにしていく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	2	・集団活動の中で、個の実態や状況に応じた活動を組み込んだり、援助を行ったりしている	・継続する
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	1	・難しいこともあるが、事前に打ち合わせたり、活動中にも声を掛け合うよう心がけている	・日常的には十分な時間が確保できていない ・朝の受け入れ準備の際に、サ行をしながら確認をすることが多い。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	3	・打ち合わせまでは難しいが、パートさんも含め降園後すぐに様子を聞いたり、休憩時間などに担任間で話すよう心がけている	・日常的には十分な時間が確保できていない ・掃除をしながらの立ち話や休憩時間を使っ ての振り返りになっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	・療育日誌を毎日記載している。その際には、クラス担任間で話すよう心がけている	・継続する
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	2	・半期に一度、個別支援会議とまとめの会議として、クラス全体の取り組みと、個別の振り返りの会議を開催している。またその上で、保護者との面談を行っている。	・継続する
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1	・必要に応じて連携している。	・新任職員の担当ケースは、クラスリーダーや児発管が代行している。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	1	・個別支援計画や指導のまとめを踏まえて電話または訪問して連携を行う ・必要に応じて保育所等訪問支援事業を活用し、継続的に支援を行う	・継続する
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	1	・連絡会に参加したり、就学先の小学校から、観察および連携に来られる ・すべての就学先に、個別支援計画と指導のまとめを送付している	・地域の公立小学校は、必ずしも連絡会の開催や実地連携を行っていない
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	11	1	・次年度の入園希望の児童の発達検査を実施し、連携を行う ・電話での相談に応じる	・現時点では、通所支援事業所からの相談はさほど多くない。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12	0	・年1回外部から講師を招いて講演会や事例検討会を実施している。 ・法人内のセンター等が実施する講演会や研修会に参加している(パート職員も含む) ・経験年数や資格を考慮した研修の機会を保障している ・定期的な園内研修では、地域の身近な専門家や有識者を招いて研修会を開催している	・園主催の講演会の開催は今後も継続する ・職員の要望も聞きながら、研修内容を検討する。 ・外部の研修会への参加についても、職員の経験年数や資格を考慮するだけではなく、職員の要望も聞きながら検討していく。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	12	0		・管理者と児発管が参画しているが、定期的な情報の申し送りが十分にできていない。職員全体での共有が必要である。
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	12		・今年度は実施していない。 ・近隣の保育所との合同防災訓練を計画したいと考えている	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	・おたより帳を活用し、家庭での様子を把握している。 ・毎週末に、担当者から個別におたよりを出している。園での取り組みの様子を知らせている	・できるだけいねいに、適切に伝えるように書くよう努めているが、一方的にならないように留意する。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0	・個人懇談等には、自分なりに子どもへの適切な関わり方を伝えている	・管理者と児童発達支援管理責任者が受講したため、今後は職員との共有をはかっている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	・入園説明会(契約時)に管理者が行っている・利用者負担は、書面で通知するとともに、参観日等で説明している	・継続する
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	・新入園児は入園前、在園児は年度の終わりに調査票を配布し、子どもの実態の把握や保護者のねがいや思いを書いてもらっている	・家庭訪問や個人懇談の時間を設けているが、十分ではない場合もある。個々の状況に応じて柔軟に対応する必要がある。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	0	・前期は家庭訪問の際に、後期は個人懇談の際に確認、同意を行っている	・限られた時間の中で、必ずしも十分なやりとりにならないこともある。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	・家庭訪問、個人懇談(前期・後期)、親子教室、就学相談など定期的に面談の機会をもっている	・回数としては十分とは言えないが、保護者からの要望に応じて、おたよりや電話、面談での対応をしている
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	2	・保護者会があり、保護者が主体的に運営している。要請があれば協力している。 ・保護者会主催のおしゃべり会に園長が参加することもある。	・きょうだいへの支援は実施できていない ・卒園児は3年生まで夏の行事に参加しているが、きょうだい同志の支援は意図していない
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	・クラスで把握したことは、即時に主任または管理者に相談の上、即時に検討し対応している	・継続する
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	0	・園だより、クラスだより、年長だよりなど、定期的に紙ベースで発行している。 ・4クラスが持ち回りで、週一回ブログを配信している。 ・園からの事務連絡や緊急の情報提供はメールで配信している	・継続する
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	・ブログや公文書への写真の掲載については、毎年アンケートで可否を聞いている。	・保護者の回答に従い、ブログ等の掲載時には、誤って掲載することのないよう複数名でチェックする。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	・毎週末に、担当者から個別におたよりを出している。園での取り組みの様子を知らせている	・できるだけいねいに、適切に伝えるように書くよう努めているが、保護者の反応もていねいに引き出していく必要がある
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	3		・今年度は行事への支援等は依頼しなかった。今後は、行事へのボランティアを検討していく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	2		・防災訓練のみしか実施できていない。今後は、地震、津波、洪水等を想定した訓練を実施する予定。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	2		・防災訓練のみしか実施できていない。今後は、BCPに基づき、地震、津波、洪水等を想定した訓練を実施する予定。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	1	・てんかん発作のある園児については、個別に対応マニュアルを作成している	・発作の頻度によっては、通園バスの乗車時間を考慮する必要がある。また、車内での対応を職員間で共有しておく必要がある
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	・入園前に聞き取りをし、日々の調理やクッキングの際には、医師の指示書にしたがって、十分な配慮をするよう努めている。	・継続する ・クラス担任でなくても適切に対応できるよう情報の共有を行う
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	・毎年、安全管理者講習に参加し、持ち帰った情報は職員で共有している。 ・防災については、年1回消防士の方から話を聞いている。	・BCPに関わる研修会にも参加していく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	0	・メールでの連絡することを取り決めている ・園内での避難経路は掲示している	・家族への緊急連絡を含めた防災訓練が必要であるとの認識はある。今後は実施する。
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	・毎日の終礼時に報告し合い、その都度対策についても検討し、改善に努めている	・安全な環境づくりへの視点と意識を高めていく	

	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回以上の研修の機会をもっている。 ・日常的に不適切と思われる関わりについては、その都度職員に指導を行っている ・家庭での虐待の可能性については、日々の着脱時に身体観察を実施している。 	・継続する
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	0	・入園説明会で、法人で作成しているガイドラインに基づいて説明し、同意を得ている。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画には掲載している。 ・セルフチェックと日常的な相互のチェック機能が保たれるよう努める。